



松澤 利行 議員 (自民)

財源問題と施策について

①いわゆる「三位一体改革」によって、減収となる見通しの平成19年度区民税への影響について伺う。②平成19年度都区財政調整協議における、交付金の配分率アップへの決意と見通しについて伺う。

区長 ①18年度に比べ1億7千万円の減収となる見込みだが、交付金で補てんされるため税収面での影響を来す心配は無いと考える。②本年2月の都との合意内容を踏まえ、区側配分率の55%への引上げが実現できるように22区と一致協力して全力を尽くしていく。

消防団の位置づけについて

①区政における消防団の位置づけについて伺う。②消防団資機材格納庫が手狭になっている。敷地を確保するべきだと考えるが、所見は。③戸越公園の旧土木事務所敷地を、消防団資機材格納庫の敷地として検討してはどうか。

区民生活事業部長 ①消防団が区全体の防災力向上に寄与している団体である観点から、積極的な支援をしている。②消防署から区内には17の分団ごとに、2か所以上の資機材格納庫を設置していると聞いている。区所有の適当な共有地等は見当たらないが、今

後、空き地情報などを東京消防庁に伝えていく。③地域の皆様の意見を聞きながら検討していく。

戸越公園周辺の防災と街づくりについて

①交通安全対策、防災対策や街づくりの面から戸越公園駅の高架化の検討を。②戸越公園駅のプラットホームの改修を提案する。また、東急電鉄に駐輪場の拡大の申し入れを。③東急電鉄に対して強力に申し入れを行い、下神明1号踏切の拡幅を。④補助29号線の計画の廃止を求める請願が、区議会において3回も採択されたが、計画が廃止になつていない理由は。⑤戸越公園駅にぶつかる補助29号線の高架化はできないのか。⑥国文学研究資料館の移転まであと一年だが、移転後の跡地利用について、学校や地域の声を反映する場をどのようにつくっていくのか。

まちづくり事業部長 ①大井町線と補助29号線などとの立体高架化を図る国庫補助事業に採択されることが前提だと考えられるが、採択は困難だと思われる。②東急電鉄はホームを延伸するとしており、その際には駐輪場を拡大して整備するよう申し入れをして

いる。③以前から要請を行っており、さらに働きかけを強化しているところだ。④この道路は交通網の一環として必要だけでなく、地域の防災性を向上させるための延焼遮断帯となるなどの理由から、この計画道路は廃止されないものと考えている。⑤現在検討に入る状況にはない。

動物の愛護について

①飼い主のいない猫について⑦世話をするボランティア活動を認めてはどうか。また、「ボランティアの方が、えさを与えています。一般の方はご遠慮ください」などの看板の設置を。⑧不妊・去勢手術費用の通年助成を。⑨地域ぐるみで育てようと上天崎目黒駅前町会で実施している「飼い主のいない猫との共生モデル事業」の取り組みと、今後の展開は。

児童保健事業部長 ①⑦地域で一定の合意が得られれば活動を認め、ご質問にある看板の設置も問題解決の一手法と考えている。⑧今年度の実施状況を見た上で、通年助成を含め検討していく。⑨固体別の生息調査や不妊・去勢手術を行うなどで着実に成果を上げていく。今後、モデル地区の拡大に努めていく。

①地域センターの機能や役割をどのように考えているのか。②地域団体と地域活動会を連携し、相互交流などを行っているが、現状を伺う。③地域センターを中心にコミュニケーション・ネットワークの構築を。④地域の身近な課題を、地域において解決するビジネスモデルとして注目されているコミュニケーションビジネスの活用を。

住民コミュニティによる活力ある地域の創造へ



西本 貴子 議員 (無会)

児童センターの再編成による子育て支援について

①子ども家庭相談事業を中心に、地域の在宅子育て支援事業を児童センターが担うべきでは。②保育園が併設されている児童センターでは、そのメリットを生かしてどのような事業を展開していくのか。③孤立した家庭に対し、積極的に育児支援サービスをするための有効な方策は。④地域に点在している児童センターを再編成し、地域センターと連動させることで現場に即した青少年育成が図れるのでは。

児童保健事業部長 ①保育園と連携した在宅子育て支援センターは、健全育成の拠点としての役割を担っていく。②それぞれの人材や施設などを相互に活用することで、新たな子育て支援が展開できると考えている。③家庭訪問などで、支援を必要とする家庭を早期に見出すなど、きめ細かな対応を検討している。④児童センターを再編成し、地域センターやNPOなどとの連携を一層強化し、子育て支援を総合的に推進していく考えた。

①食物アレルギーに対応をしている児童・生徒の把握の方法と人数は。②対応方法は保護者の申告によるものなのか、あるいは医師の診断を義務づけているのか。③指示書の作成方法と現場への指示や

学校給食におけるアレルギー対応について

管理について伺う。④学校側は十分な知識を持っているのか。⑤他の児童と給食の内容が違う場合の説明は。⑥教職員等に対する研修は行っているのか。⑦アレルギー反応への緊急対応のため、栄養士や調理師などに対し研修を実施するべきでは。また、統一マニュアルが必要では。⑧保育園との連携を強化し、その対応等を学校給食に取り入れていく。⑨公有地の跡地利用や空き店舗を利用した拠点方式で代替食の調理などが可能では。⑩専門家のアドバイスが得られる情報ネットワークづくりなど事業の展開を。⑪食に関する検討委員会を設置しては。教育次長 ①毎年5月1日を基準に調査を実施しており平成18年は、小学校で96名、中学校で11名いた。②医師の判

請願・陳情の審査結果 (平成18年第4回定例会)

品川区議会議長あてに提出された請願・陳情について、審査結果をお知らせします。

Table with 4 columns: 付託委員会, 請願・陳情件名, 受理番号, 審査結果. Rows include items from 区民委員会, 厚生委員会, 建設委員会, and 文教委員会.

※ 採択 (区議会として、ご希望に賛同します。) 〇 採択 (区議会としては、ご希望に賛同しかねます。) 〇 趣旨採択 (区議会として、ご希望の趣旨には賛同します。) 〇 継続審査 (区議会として、引き続き慎重に審査します。)